AirMagnet Survey PRO 11.4.0 **Release Notes**

October 2024

はじめに

AirMagnet Survey PRO は、2.4GHz、5GHz、および 6GHz 帯域の 802.11a/b/g/n/ac/ax 無線ネットワー クの計画およびサーベイに必要なすべてを備えた、WLAN のプロフェッショナルを支援する強力で使いやすい WLANサイトサーベイツールです。

このリリースノートでは、新機能に加え、11.4.0リリースで修正された問題についても取り上げます。

新機能 v11.4.0

AirMagnet サーベイプロジェクトを Link-Live にアップロードする

AirMagnet サーベイプロジェクトを顧客やチームメンバーと共有したり、すべてのサーベイを1 つのリポジトリ にまとめたりすることが、これまでより簡単になりました。このリリースから、アクティブまたはパッシブ サー ベイプロジェクトをLink-Liveにエクスポートできるようになります。これにより、次のことが可能になります。

- Link-Live でヒートマップを分析
- ローミングポイントを強調表示
- Link-Live に保存されたレポート テンプレートを使用してカスタムレポートを生成



以下がその手順です。

- Link-Live にエクスポートする AirMagnet サーベイプロジェクトを開きます。
- [File] を選択し、ドロップダウン メニューから [Export AirMapper Files...] をクリックします。

(iii) Airl	Magnet Survey Professional Edition - Indo Edit View Help	or.svp
* *	New Project Ctrl+N Open Project Ctrl+O Save Ctrl+S	rvey 💽 Display 💽
0	Save Project As Close Project Configure	
	Phonebook Data Merge	
*	Import Survey Path Import Survey Data Import Floor Image	
	Export AirMapper Files Export to Google Earth Export AP Config	
8	Cisco Prime Infrastructure Export	
	AirMagnet Sensor Deployment Mode Work in Display Only Mode	-
Fa	Recent Projects	-

- エクスポートしたプロジェクトを保存するフォルダーを参照します。エクスポートしたプロジェクトは.AMP (AirMapper) ファイルとして保存されます。
- Link-Live にログインします。
- 画面の左側にある AirMapper を選択します。



• 画面の右下にある .amp ファイルをインポート(Import an .amp File) をクリックまたはタップします。



- プロジェクトの**タイトル**とラベル(オプション)を入力します。
- ファイルの選択を選択し、インポートする .AMP ファイルの場所を参照します。
- **アップロード**をクリックまたはタップします。

Import an .amp file		
Title*		
Demo Active Survey		
Labels		
Choose File No file chosen		
	Cancel Uplo	ad

AirMagnet サーベイプロジェクトが、画面左側の AirMapper ファイルのリストに表示されます。

この新しい機能を使用する際は、次の点に注意してください。

- この機能は、AirMagnet アクティブサーベイとパッシブサーベイでのみ使用できます。次のサーベイタ イプはサポートされていません。
 - iPerf サーベイ
 - VoFi サーベイ
 - 。 仮想 サーベイ(Planner または Multi-Floor Planner)
- AirMagnet アクティブサーベイまたはパッシブサーベイの実行中に収集されたスペクトラムデータは、 エクスポートされた .AMP ファイルには含まれません。
- AirMagnet プロジェクトを.AMP 形式に変換する前に、プロジェクトに含めるデータポイントの数を選 択するオプションがあります。このオプションは、Link-Live にエクスポートされる自動サンプリング データポイントの数を減らし、レンダリング時間を短縮するために使用されます。この新しいオプション を使用するには、次の手順を実行します。
 - 。 Link-Live にエクスポートする AirMagnet サーベイプロジェクトを開きます。
 - File に移動して Configure を選択します。
 - Settingsタブの Link-Live セクションを見つけます。
 - 使用可能な 2 つのオプションを使用して、プロジェクトに含めるデータ ポイントの数を選択します。
 - X 個の自動サンプリング ポイントをすべて保持 手動で収集されたポイント (フロア プ ランをクリックすると保存されます) 間で保持するデータ ポイントの数を選択できます。
 - 信号強度が Y dBm 未満のサンプリング ポイントをスキップ 指定された値 (dBm 単位) よりも弱い信号強度のデータ ポイントを除外できます。

,	Indoor.svp	×
	Settings AP Grouping Color Profile AP Survey data Ignore APs whose max discovered signal is less than -99 dBm when opening survey data files C Hide ignored Access Point Logging data Auto logging data period 3 seconds C Beep when logging data Sampling options Auto sampling through path	
	Sampling on click only Link-Live Keep every 1 auto sampling point Skip sampling point with signal less than -100 dBm Use maximum heatmap drawing resolution Auto Position APs with signal greater than -65 dBm Display MAC address only Prompt for refresh after AP location change Finable Survey Range Indicator	
	Enable GPS port Hide APs below legend threshold in Bubble Window Configure GPS PHY Data Rate Map	
	Channel Interference Spectrum Integration	

- マージされたファイルを Link-Live にエクスポートする際は、次の制限に注意してください。
 - マージされたファイルにサポートされていないサーベイタイプのデータが含まれている場合、サポートされていないデータはエクスポートに含まれません。これにより、Link-Live のヒートマップが AirMagnet Survey PRO のヒートマップと異なる外観になる可能性があります。
 - 元のデータファイルが欠落しているマージされたファイルをエクスポートする場合、マージされ たファイルのみがエクスポートされます。
- AirMagnet サーベイを Link-Live にインポートすると、次のファイル情報が利用可能になります。
 - サーベイタイプ アクティブまたはパッシブ
 - 開始時間 サーベイが開始された日時
 - 。 ユニットシリアル AirMagnet サーベイデータファイル名
 - ポイント数 インポートされたデータポイントの数
 - フロアプラン フロアプラン画像の名前
 - AirMagnet アダプタ サーベイの実行に使用されたアダプタのモデルと MAC アドレス (統合された AirMagnet サーベイでは利用できません。)
- インポートされた AirMagnet サーベイでは、Link-Live で次の分析オプションが利用できます。
 - 。 Wi-Fi サーベイ ヒートマップとレポートを生成できます。
 - 。 エクスポート .AMP ファイルのコピーを任意のデバイスにダウンロードします。
- インポートされた AirMagnet サーベイでは、Link-Live で次の視覚化オプションが利用できます。
 - アクティブサーベイ

- 信号強度
- ノイズ (ノイズ測定をサポートするアダプタで利用可能)
- SNR (ノイズ測定をサポートするアダプタで利用可能)
- Tx Rate (カスタム AirMagnet ドライバを使用する場合に利用可能、Rx レートは Link-Live ではサポートされていません。Windows ドライバを使用する場合は、PHY 接続レートが表示されます。)
- o パッシブサーベイ
 - 信号強度
 - ノイズ
 - SNR
 - 同一 チャネル干渉
 - 隣接 チャネル干渉
 - AP カバレッジ
- インポートされた AirMagnet サーベイでは、Link-Live で次のカスタマイズ オプションが利用できます。
 - アクティブ
 - パス サーベイデータの収集中にたどられた経路を表示します。
 - ローミングポイント フロアプラン上のローミングイベントを強調表示します。
 - 数値 選択した視覚化で測定された最も強い値を表示します。
 - 寸法 フロアプランの寸法を表示します。
 - ヒートマップ ヒートマップを表示または非表示にします。
 - FPをグレー表示 色付きのフロアプランを白黒に変更します。
 - o パッシブ
 - パス サーベイデータの収集中にたどられた経路を表示します。
 - 数値 選択した視覚化で測定された最も強い値を表示します。
 - 寸法 フロアプランの寸法を表示します。
 - ヒートマップ ヒートマップを表示または非表示にします。
 - AP 位置 フロアプラン内の AP の場所を表示します。
 - FPをグレー表示 色付きのフロアプランを白黒に変更します。
- インポートされた AirMagnet サーベイでは、Link-Live で次のレポートオプションが利用できます。
 - View の作成 カスタムレポートviewsを作成できます。
 - Viewをブラウズ カスタムレポートviewsを参照、選択、ロードできます。
 - テンプレート管理 他のプロジェクトで再利用できるレポートテンプレートを作成できます。
 - レポートを作成 PDFレポートを生成します。
 - ダウンロード CSV 生のサーベイデータを .CSV 形式でダウンロードします。

PNGをダウンロード – フロアプランとヒートマップのスクリーンショットを .PNG 形式でダウンロードします。

Multi-Floor Plannerのアンテナパターン読み込み時間の改善

このリリースでは、使用する AP ベンダーのアンテナパターンを選択できるようにすることで、アンテナパター ンの読み込み時間が改善されました。

使用する AP ベンダーのアンテナパターンを選択する手順は以下です。

• Multi-Floor Planner を起動します。

注意: プロジェクトを開く前に、次の手順を完了する必要があります。

- 画面の左上にある **Tools** を選択します。
- ドロップダウンリストからAntenna Manager を選択します。



- Antenna Manager ウィンドウで、デフォルトで読み込むAPベンダーを選択します。
- Save Vendors をクリックまたはタップします。
- Antenna Manager を閉じます。



手順は以上です。

今後はAntenna Manager を開くたびに選択したベンダーのアンテナパターンのみが読み込まれます。 一方、APプロパティの設定中は選択したベンダーで使用可能なアンテナパターンのみが使用可能になります。

この新しい機能を使用するときは、次の点に注意してください。

- Antenna Manager で Save Vendorsを使用できるようにするには、すべての Multi-Floor Planner プロジェクトを閉じる必要があります。
- Antenna Manager を閉じても選択したAPベンダーは保存されません。Save Vendors をクリックする ことを忘れないでください。
- Antenna Manager で選択されていないベンダーのアンテナパターンを含むプロジェクトを開くと、欠落 しているベンダーのアンテナパターンが、選択したベンダーのリストに自動的に追加されます。
- 2.4 GHz、5 GHz、 6 GHz 帯域ごとに異なるベンダーを選択できますが、帯域ごとに少なくとも 1 つの ベンダーを選択する必要があります。
- 選択したベンダーによっては、AP プロパティ画面のデフォルトのアンテナが変わる場合があります。

新しいアンテナパターン

今回の Survey PRO 11.4.0 では、以下のアンテナパターンが追加されました。

ベンダー	アンテナパターン
Cambium	ANT-D35-4X4-01
	AN I-D60-4X4-01
Edgecore	EAP111
	OAP101-6E
Ubiquiti	U7 Pro

Bug Fixes

このセクションでは、このリリースで修正された不具合について説明します。

Defect ID	説明
187499366	ユーザー ガイドの一部のリンクが壊れています。
187555729	Simulation の'New AP Properties' ポップアップ ダイアログに、無効なチャネルを含むチャネル ドロップ リストが表示されます。

Known Issues

このセクションでは、この AirMagnet Survey 11.4.0 リリースに関する主な既知の問題について説明します。

Defect ID	説明
186987523	チャネル 165 (Intel AX201 アダプタ) の AP に対してアクティブ サーベイを実行しようとすると、アプリ ケーションが応答を停止します。
187192641	Emwicon WMI7211 の使用中にアクティブ サーベイを実行すると、PHY データ レートがフリーズします。
178103361	Survey Report:削除されたセクションはレポートの本文に含まれます。
183582600	上位 30 の AP のパッシブ サーベイ レポート ページには、3 つの帯域すべてで最も強い BSSID がありません。
181290737	View Per AP: AP プロパティの色の設定は保存されません。
181904334	レポートの AP リスト セクションに間違った AP 電力が表示されます。
187269916	間違ったチャネルが表示されます (ツリー ビューのチャネルと一致しません)。

Release History

Release Month	Release Version
07/2020	AirMagnet Survey PRO 10.0.0
12/2020	AirMagnet Survey PRO 10.1.0
01/2021	AirMagnet Survey PRO 10.2.0
05/2021	AirMagnet Survey PRO 10.3.0
07/2021	AirMagnet Survey PRO 10.3.1
11/2021	AirMagnet Survey PRO 10.4.0
05/2022	AirMagnet Survey PRO 10.5.0
11/2022	AirMagnet Survey PRO 11.0.0
07/2023	AirMagnet Survey PRO 11.1.0
11/2023	AirMagnet Survey PRO 11.2.0
04/2024	AirMagnet Survey PRO 11.3.0
10/2024	AirMagnet Survey PRO 11.4.0